

「やまなしKAITEKI住宅」モデルPLANに選定されました



板張りの外観



湿式+板張りの外観



街並みに溶け込む外観

- 南へ傾斜する切妻屋根が、落ち着いた佇まいを生みます
- 桁の高さを抑え、北側への日影を最小限にします
- 芝生を広げ、常緑樹を植えて緑豊かな外構とします
- 芝生の庭は、子どもが安心して遊べる場です
- カーポートにグリーンカーテンを絡ませ、玄関に木陰をつくります
- 建物と緑が調和し、街に潤いと穏やかな景観を生みます

設計コンセプト

「おはよう」「ただいま」がうれしい、吹き抜けのある住まい

学校や保育園を終えた子どもたちは、お母さんと一緒に車で帰宅します。玄関先に車を停めると「ただいま！」の声が吹き抜けに響き、家全体が温かな雰囲気包まれます。荷物を抱えたお母さんも、子どもたちの元気な声に迎えられ、自然と笑顔に。シンプルな帰宅動線と家事動線により、夕飯や洗濯に取り掛かりながらも、子どもの話に耳を傾けるゆとりが生まれます。お父さんも帰宅すれば、吹き抜け越しに家族の気配を感じ、会話やふれあいの時間を大切に過ごせます。日々の挨拶や何気ない会話が自然に交わされる空間は、子どもの成長を温かく見守り、家族の絆を深めていきます。「やっぱり我が家が一番」と感じられる、そんな住まいを提案します。

- 1) 低く抑えた姿とやわらかな素材
- 2) 山梨の木で、時を重ねても美しく暮らせる住まい
- 3) 無垢の木と、手入れしやすい素材の調和
- 4) 子育ての楽しさが増す動線設計
- 5) 自然に家族が集い会話が弾むLDK
- 6) 光と風が家じゅうをめぐる心地よい住まい
- 7) 長期優良住宅、GX志向住宅取得 安心の性能
⇒ **心地よい暮らし**を実現します

私たちの目指すもの

性能とデザインをあきらめず
住まい手の心地よい暮らしをすること
＋
街並みに溶け込む住まいを提案

株式会社Vent計画設計室のこれまで

- 1) 自然素材を使った住まい手に優しい「暮らし」を提案
- 2) キッチンを住まいの中心に…がキャッチコピー
キッチンに立った時、家族と視線が合い、一番良い景色が見える住まいを提案
- 3) キッチン近くに水回りを配置、最適な洗濯動線の提案
- 4) 適材適所に収納 無理せず整理整頓ができる住まいの提案
- 5) 安全安心な住まいの提案 耐震等級3 ※1
(許容応力度計算も可)
長期優良住宅は制度発足から認定を取得
- 6) 省エネに配慮した住まいの提案 断熱等級6+ ※2
- 7) 県産材の利用促進に力を注ぎ、記念柱の伐採を毎年実施



やまなしKAITEKI住宅そのもの



県産材を住まいの中心に
物語のある住まいづくり



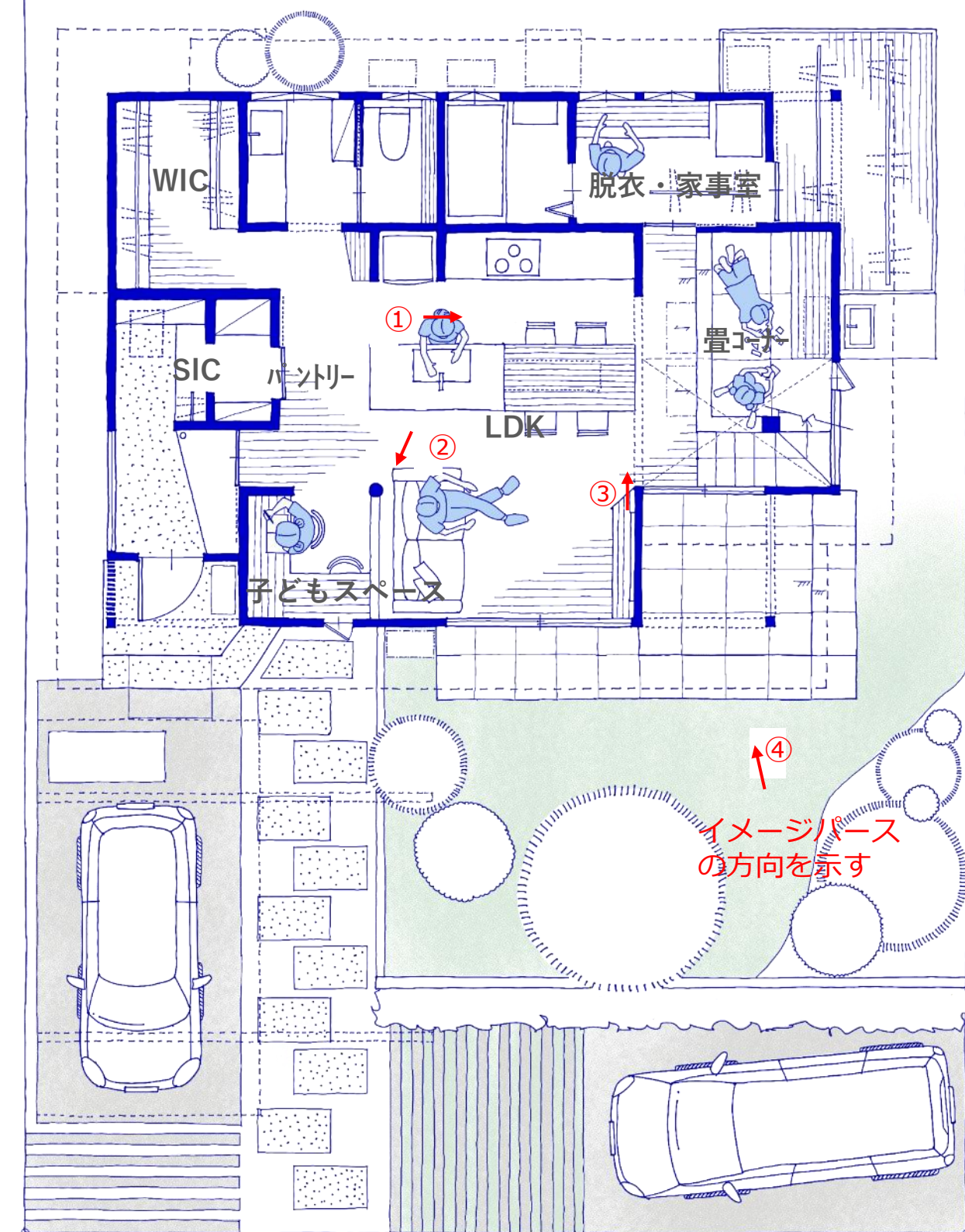
キッチンが住まいの中心

和モダン住宅



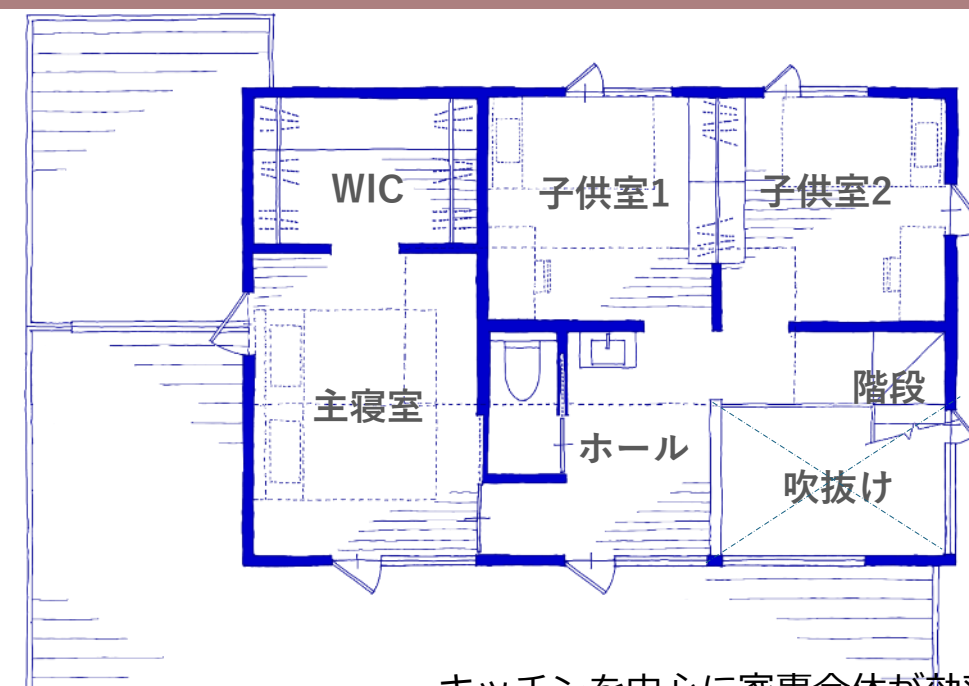
※1 地震に対する建物の強度を示す等級の一つで、耐震等級1の1.5倍の強度を持ちます。
※2 断熱等級5、6、7は2022年に新たに設けられた基準です。6+は断熱等級 6と7の中間値を目指しています

1階・2階平面PLAN



家族が自然に集まり、笑顔で毎日過ごす時間を育む、そんな平面計画。朝、大きな吹抜から差し込む光がLDK全体を明るく包み、その光を浴びながら、畳コーナーで子供たちが着替え、朝食の用意をする母が声かけをする。

休日の朝は畳コーナーで子どもが遊び、父親が子どもの宿題を見てあげたり、親子の距離を縮め、会話が弾み、笑い声が響く。南側の開口からの景色や柔らかな光がそんな時間を包みこむ。



キッチンを中心に家事全体が効率的に回るよう設計しています。玄関から土間収納、パントリーを経てキッチンへ直結する動線は、買い物後の収納を最短距離で完了させ、食品や日用品の出し入れもスムーズです。キッチン背面には洗面室・脱衣室・浴室を近接させ、料理をしながら洗濯や入浴準備など複数の家事を同時進行できます。

キッチンと畳コーナーは最短距離で、子供の見守りができます。ダイニングへの配膳や片付けもワンアクションで完了し、調理・収納・片付け・洗濯がキッチンを軸に循環する、時短と快適性を両立した家事動線を実現しています。



リビング内の子どもスペース

リビングに子どもスペースを設けると、母親だけでなく、父親も休日、寛いだりしながらも、子どもの遊ぶ様子に自然に目を向けられます。声をかけ、一緒に遊んだり、たまには学校の宿題を一緒に解いたり、触れ合う機会が増え、日常の中で父子の絆を深める時間が生まれます。



屋 根：軒の深い 切妻屋根
外 壁：県産材を用いたメンテナンスが不要な板張り外壁
開口部：南面に開いた引き違いの大開口
内と外のつながりを作る屋根のかかったテラス
シンプルなラインが作る美しい外観

■ 提案するKAITEKI住宅

木の温もりと切妻の端正な美しさ

街並みに静かに溶け込みながら、凛とした存在感を放つ外観。それを形造るのは、端正な切妻屋根と、県産材を活かした木の外壁です。派手さを抑えたデザインは、和の趣と現代的な洗練さを併せ持った、飽きのこない美しさを生み出しています。年月とともに木の色合いが変化し、深みを増していく姿は、住まいが家族と共に成長していく証となります。

太陽を味方にした外観デザイン

南面に大きく広がる屋根は、5kWの太陽光発電パネルを美しく収める形状とし、山梨の豊かな日射を最大限に活用します。深い軒の出は夏の日差しを遮り、冬は低い光を招き入れる役割を担うと同時に、外観全体に陰影を与えて端正な表情をつくります。機能性とデザイン性が一体となった外観は、持続可能な暮らしを象徴しています。

緑が映えるファサード

植栽計画は、木の外壁に映える計画です。庭先のシンボルツリーと木々。街路に面した木製フェンスや生垣。夏には木陰を作るカーポート。それぞれが季節ごとの彩りを添え、建物をやさしく包み込み、街並みに潤いをもたらします。



当社設計 和モダン住宅

和モダン：流行に左右されず、時を経るほどに味わいが増す、住む人に安らぎを与える住まい
和の伝統的な要素と現代的なスタイルが調和した周囲の環境に溶け込む、落ち着いた洗練された美しさを持つ住まい

■外観は様々な表情に（同PLANも）変更可能



①同PLAN

外壁の仕上げのみを変更
板張り と 湿式仕上げの2種
全く同じPLANでも異なる表情に

②ベランダ追加PLAN

2階南面にベランダを設置し、
両サイドの壁を斜めにせり出させ、
南面の外壁材を切り替えモダンな表情に

③屋根：寄棟PLAN

1・2階の屋根を寄棟にした、
落ち着いたある外観
モルタルとタイルを組み合わせた
重厚な表情に

④屋根：片流れPLAN

1・2階の屋根を片流れにした
よりモダンなPLAN
金属製サイディング仕上げで、
軽快でシンプルな表情に



配置図・1階平面図

収納スペースは 全体の**11%**
十分なスペース、常に整理整
頓された状態を保てます

幅広のトイレ(①)
トイレトレーニングに最適
将来、介護が必要に
なった折も有効

明るく広い洗面室(②)
着替えてすぐに手洗い
タオルなどの収納も確保
下着などはカウンターで畳み、
そのまま収納にしまう

帰宅動線上の3畳のWIC (③)
家族の着替はここに収納
収納量は十分

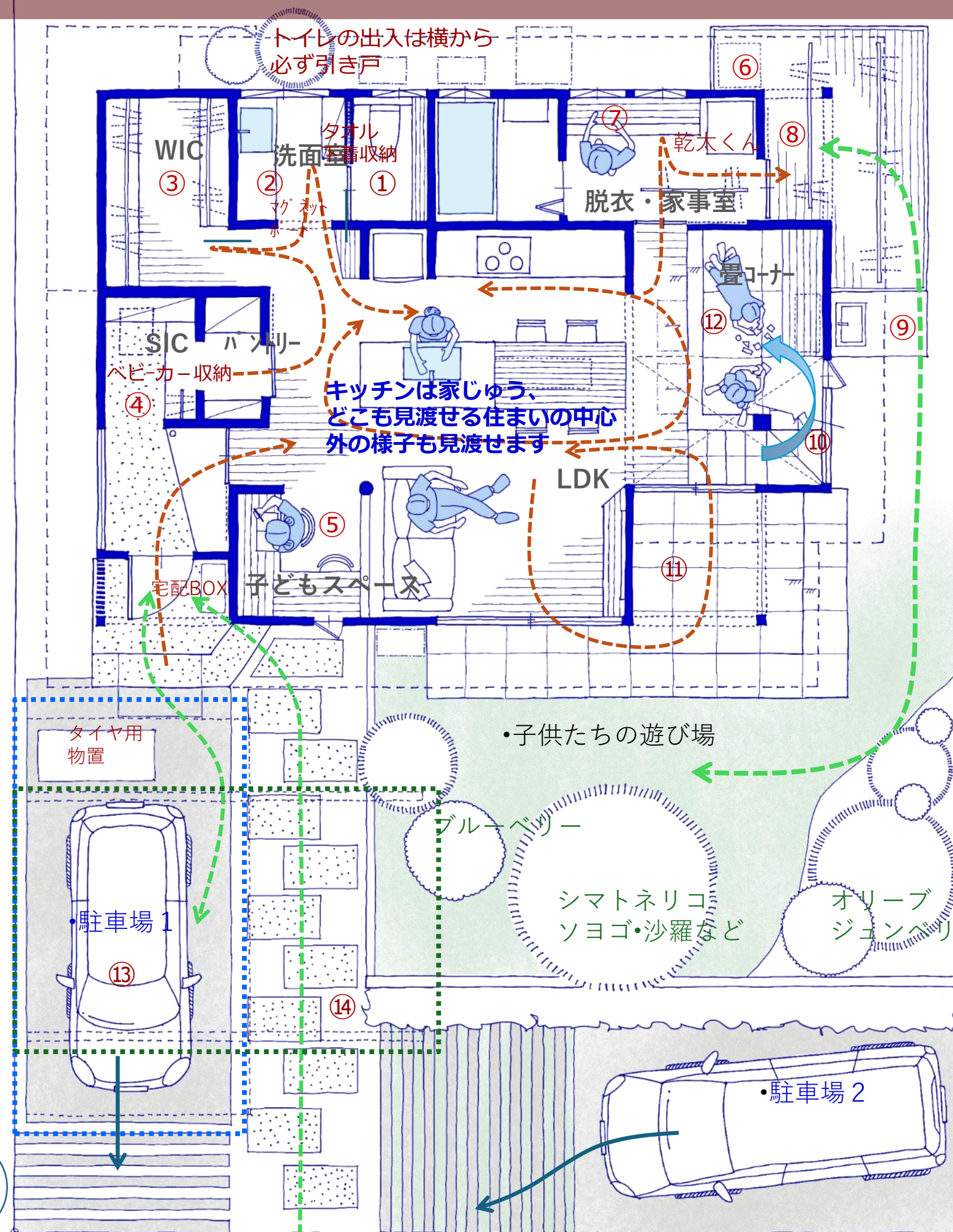
シューズクロークとパントリー(④)
ベビーカー置き場を確保
たっぷり収納

キッズスペースやスタディコーナー
となる子どもスペース（⑤）を設け、
学習環境をサポート

家具は面取り加工
床材は無垢材で優しく、やわらかい
(無垢材はメンテナンス面でも優等生)

子供たちと母を迎える駐車（⑬）
雨に濡れずに家に入れる
夏はカーポート（⑭）の緑のカーテン
で帰り道が木陰となる

敷地内の歩道と車道は明確に分離



有価物など一時置き場(⑥)

キッチンから手の届く範囲に水回り (⑦)

屋根のかかった洗濯物干場 (⑧)
家事室で室内干しもできる

外でどろだらけになって遊んだ子供
たちが外水場で足を洗って、
お風呂場に直行（⑨）
子どもたちは叱られる心配なく、思
い切り遊ぶことができ、大人も子供
もストレスなく遊べる
ペットの汚れた足を洗うのにも最適

吹抜け（⑩）が1階と2階を結び
お互いの気配を感じ
過ごすことができます
光と風もここから広がり、空調
の空気も吹抜けを通して有効に
流れていきます

屋根のかかったテラス（⑪）
リビングと庭を繋ぐ設計で、子供たちが外で安全に遊ぶ環境を整えます。

夏はプール
バーベキューも
冬は日向ぼっこ

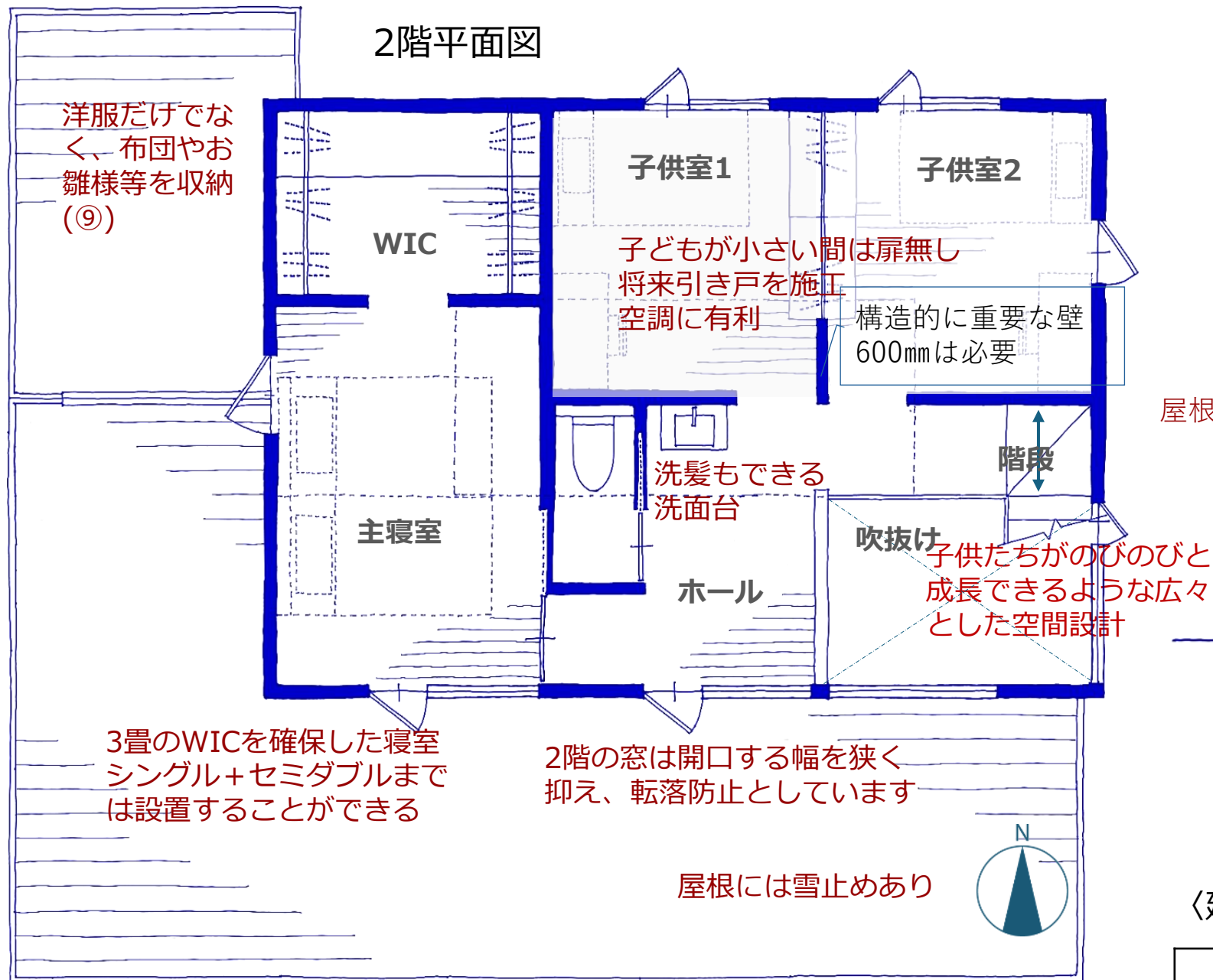
畳コーナー (⑫) は万能選手

今回の住まいの中心となる畳コーナー。朝、階段をトントンと降りてくる子どもと「おはよう」と挨拶し、母は朝食を、子どもたちは、畳コーナーで着替えを済ませ、朝の準備を始める。帰宅後はダイニングでお絵描きをしたり、畳コーナーでおもちゃを広げたり、帰宅した父も加わり、声をかけ、一緒に遊ぶ。散らかしても片付けやすく、休日には母が洗濯物を畳む場としても活躍。引き出し収納には着替えもしっかり収まり、子育てや家事、家族のふれあいをやさしくつなぐ大切な場所となる。

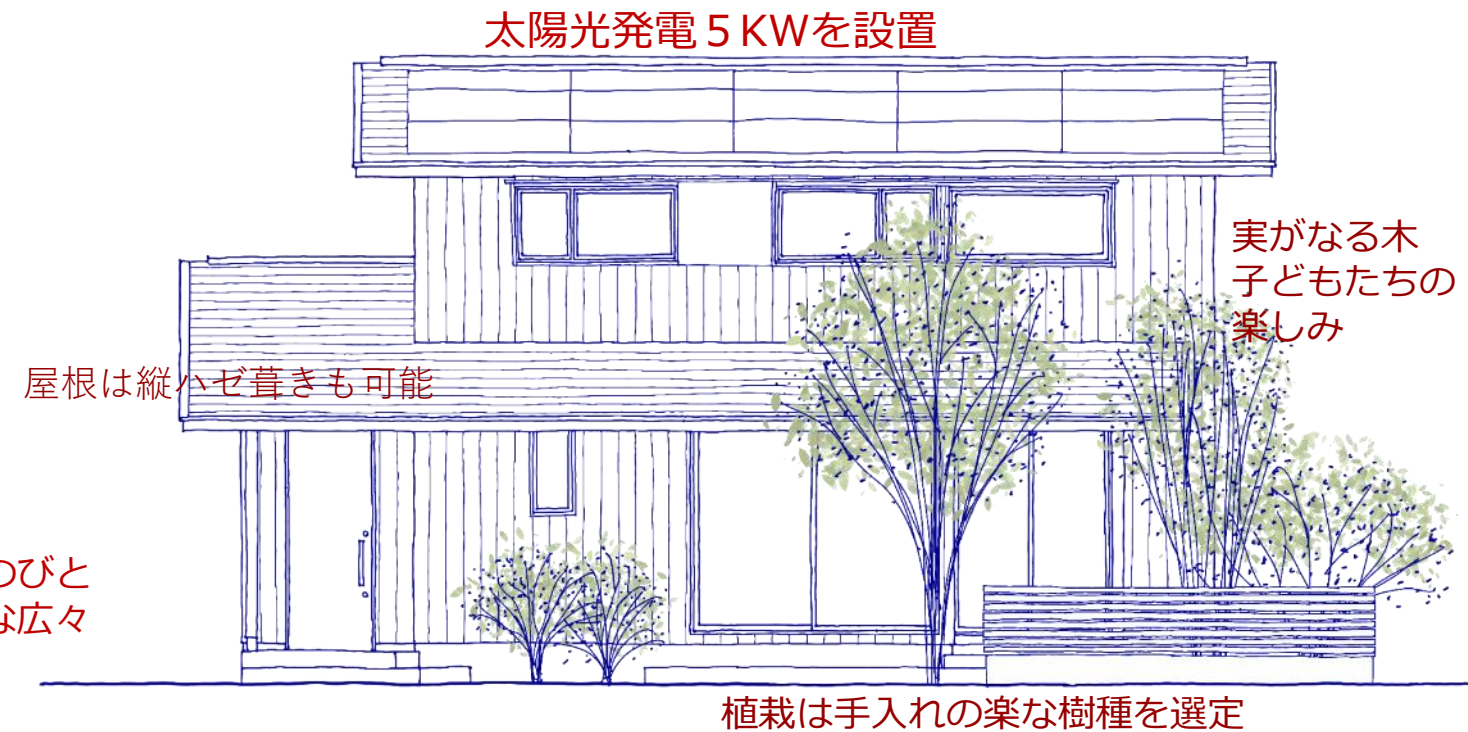
■KAITEKI住宅とは ただ住む場所ではなく、日々の生活を心地よく過ごし、日々の出来事を思い出に変え、ここで過ごす時間そのものが、家族の絆を深めていく場所です

■安心で安全 心地よい暮らしを提供します
(高性能住宅)

2階平面図



南面立面図



庭づくりを検討しない家づくりは提案しません。ただ、最初から100%完成させるのではなく、小さな樹木は、施主が楽しみながら植えたり、少しずつ完成させていきます

■北側に向けた子ども室

北側に配置された子ども室は、子どもの集中力を高めます。東・南面からの日差しは暖かいですが、動きがあり、中高生になり、集中して勉強したい時には邪魔になります。それに対し、北側窓からの光は安定していて、動きがなく、子どもの集中力を高めます。北側からの光でも、学習等に必要な明るさは問題なく確保できます。

■小さな時期は仕切らずに

子ども室は子どもが小さいうちは仕切らず広いまま使用します。吹抜けを通して、子どもの様子が1階から感じられ、声をかければすぐに応えることができます。親子4人で枕を並べて休む場合は子ども室を使用すると広さが確保できます。ただし、今回のPLAN、中央の壁は構造上重要なもので600mmは必要。

〈建物概要〉

1階床面積	64.59㎡ (19.53坪)
2階床面積	42.23㎡ (12.77坪)
延床面積	106.82㎡ (32.30坪)
建築面積	71.21㎡ (21.54坪)
階数	2階建て
最高軒高	5,590mm
最高高さ	6.55m

太陽光発電 5 KWを設置
GX志向型住宅の基準をクリア

断熱等級 等級6
(UA値0.43、ηAC値1.7)

省エネ等級 等級6

耐震等級 等級3
(許容応力度計算)